

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年8月22日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「あなたの御言葉は、わたしの道の光 わたしの歩みを照らす灯。」

詩編 119編 105節

11、うれしいあさよ（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ テサロニケの信徒への手紙1 1章2節～10節

わたしたちは、祈りの度に、あなたがたのことを思い起こして、あなたがた一同のことをいつも神に感謝しています。あなたがたが信仰によって働き、愛のために労苦し、また、わたしたちの主イエス・キリストに対する、希望を持って忍耐していることを、わたしたちは絶えず父である神の御前で心に留めているのです。神に愛されている兄弟たち、あなたがたが神から選ばれたことを、わたしたちは知っています。わたしたちの福音があなたがたに伝えられたのは、ただ言葉だけによらず、力と、聖霊と、強い確信とによったからです。わたしたちがあなたがたのところで、どのようにあなたがたのために働いたかは、御承知のとおりです。そして、あなたがたはひどい苦しみの中で、聖霊による喜びをもって御言葉を受け入れ、わたしたちに倣う者、そして主に倣う者となり、マケドニア州とアカイア州にいるすべての信者の模範となるに至ったのです。主の言葉があなたがたのところから出て、マケドニア州やアカイア州に響き渡ったばかりでなく、神に対するあなたがたの信仰が至るところで伝えられているので、何も付け加えて言う必要はないほどです。彼ら自身がわたしたちについて言い広めているからです。すなわち、わたしたちがあなたがたのところでどのように迎えられたか、また、あなたがたがどのように偶像から離れて神に立ち帰り、生けるまことの神に仕えるようになったか、更にまた、どのように御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを。この御子こそ、神が死者の中から復活させた方で、来るべき怒りからわたしたちを救ってくださるイエスです。

おはなし 「神のおきてを喜ぶ生活」 長尾 牧先生

「おきて」とはなんでしょう。辞書でしらべると「定め、決まり」という意味で、それをまもらなければ罰を受けるか社会から葬られる厳しいことのようにです。

それでは「神のおきて」とはなんでしょう？ それは「十戒」です。十戒の「戒」は「いましめ」ということで、まもらなければならないと定められたことです。

先週まで十戒を学んできましたが、本当のその総てをまもることは大変難しいことと思います。それなのに「おきてを喜ぶ」ことなどできるのでしょうか？「してはならない」とか「しなさい」と言

われるとつまらないですよ。それをうれしいと喜ぶことは普通はないですよ。ところがテサロニケの信徒は「ひどい苦しみの中で、聖霊によって喜びをもってみ言葉を受け入れ」（6節）たと書いてあります。

テサロニケの信徒は聖霊の力をうけることができたので、み言葉（神のおきて）を喜んで受け入れたのです。

私たちが自分ではできないと思うことでも私たちの中にいてくださる聖霊の助けを借りることによってできるのです。

それでは、「おきてを喜ぶ」とはどういうことでしょうか？ ふつう決まり事を守るとはいいますが喜ぶとはいいませんよね。それは十戒の目的が人の喜びにつながっているということです。マタイの福音書で律法の専門家が「先生、律法のなかでどのおきてが最も重要でしょうか」（22：36）とイエス様に尋ねたときに、イエス様は重要なおきては「神を愛しなさい」ということで、つぎは「隣人を愛しなさい」ということだとお答になりました。

私たちが喜びの生活をしていくためにその大きな二つのおきてを守るためには何をすれば良いかという十戒にしたがうということなのです。

教会では毎週の礼拝で十戒を唱えます。これは神様にお願いして私たちの中の聖霊により十戒を守る力を与えてもらうためです。神様・イエス様を信じることができるということは、神様が私たちを選ばれて、私たちを愛してくれて聖霊を与えてくださったからなのです。十戒を守るということは私たちが神と隣人を愛して喜びの生活ができるということです。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

95、主の喜びが心にあれば（こどもさんびかをお用ください）